

大腸癌研究会プロジェクト
『pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究』

- 研究 1 (日米共同) pT1 大腸癌における「内視鏡摘除後の追加治療の適応基準 (大腸癌治療ガイドライン)」の検証とリンパ節転移リスク算出 tool の作成
研究 2 (日英共同) pT1 大腸癌のリンパ節転移のリスク因子に関する研究 (Formula One Study)

第9回会議議事録

2021 年 1 月 21 日

浜松町コンベンションホール 「メインホール A」 + web

■出席者

- 委員長 防衛医科大学校外科：上野 秀樹
- プロジェクトアドバイザー 兼国際共同研究の研究責任者：杉原 健一 (欠席)
- 委員 (50 音順)：秋元直彦、味岡洋一、池松弘朗、石黒めぐみ (欠席)、石原聡一郎 (代：空野浩司)、市川一仁、浦岡俊夫、大内彬弘、應田義雄 (欠席)、大沼 忍、岡 志郎、奥山 隆 (欠席)、勝又健次、金光幸秀、河内 洋、桑井寿雄 (代：田丸弓弦)、小嶋基寛、小林 望 (代：今野真己)、小林宏寿 (代：高島順平)、小森康司、斎藤彰一、齋藤裕輔、斎藤豊、坂本一博、島崎英幸 (欠席)、菅井 有、関根茂樹、高松 学、田中信治、富樫一智、内藤 剛、永田信二 (欠席)、中村好宏、福長洋介 (欠席)、藤盛孝博 (欠席)、堀田欣一、松下弘雄、松田健司、山田一隆、山田真善、山野泰穂 (欠席)、梶原由規 (事務局)
- オブザーバー 14 名

■会議内容

1. 研究 1 (Nomogram study)

(1) 主解析結果について

ガイドラインの検証に関する解析の論文化の準備が進んでおり、近日中に投稿前原稿を報告する予定であることを報告した。

大腸癌登録の T1 症例 (約 10000 例) と本プロジェクトでの集積症例のうち 18 施設分 (約 3000 例) の解析結果に基づき作成された nomogram と、9 施設分 (約 1500 例) での validation の結果を報告した。

(2) 副次的研究について

現在までに有効登録症例数順に 12 施設から研究案が提案され、確定していることを報告し、募集を継続することを周知した。副次的研究結果の公表については、主解析の公表後に行うことを確認した。

(3) プロトコール改訂について

集積症例の予後情報についての追加データ収集および研究期間の延長 (2023 年 1 月末まで) について了承された。

2. 研究 2 (F1 study)

(1) 進捗状況について

4 施設 (癌研有明、がん研究センター中央、がん研究センター東、防衛医大) の病理医による interobserver study 評価結果の集積完了について報告した。

本邦 1000 例分のデジタルスライドデータの解析を開始することを決定した。

(2) 副次的研究について

本研究で集積したデジタルスライドを用いて副次研究を行うことを決定した。また、集積データの有効的な利活用のため、委員施設以外の大腸癌研究会参加施設での使用について、今後許容する方向性とする事が承認された。

3. その他

特になし。